

# 新型コロナ感染症対策基本方針

## 主催事業開催におけるガイドライン

### 事業運営について

#### 1. スタッフについて

携わる全スタッフに関して以下の内容のヒアリングを行い、その項目すべてに当てはまるスタッフで運営を行います。

- 開催日の14日間以内に発熱・咳などがある方との接触がない。
- 参加当日を含めて、14日間以内に37.5℃以上の発熱・平熱から+1℃の体温を超えていない・咳・倦怠感・のどの痛みなどの体調不良がない。
- 各事業開始14日前から体調チェックの記入をする。
- 14日以内に日本国外への渡航をしていない。
- 宿泊事業に関しては、事業の2日前に抗原検査を実施し陰性である。

#### 2. 参加条件について（参加者、送迎の保護者共通）

- 参加者は、当日を含めて事業開始前7日間以内に、37.5℃以上の発熱・平熱から+1℃の体温を超えていない。
- 参加者、家族に過去7日間にわたり感染症状を発する人がいない。
- 参加者、家族または接触者に過去14日間にわたり新型コロナウイルス陽性者がいない。
- 飛沫を予防するためのマスクを各自用意できる。

#### 【参加者が通っている学校・職場、送迎の保護者の職場で感染が確認された場合】

- 保健所から参加者、保護者が「濃厚接触者」ではないとされた方は、通常の参加条件に則りプログラムへ参加できます。
- 保健所から「濃厚接触者」とされた場合、検査で陰性となった場合でも、14日間プログラムへの参加はできません。
- 学校、職場が「感染者による臨時休校、閉鎖」となっている期間は、濃厚接触者でなくとも参加できません。

※同じ学校内、職場内に感染者が確認された状況では、本人が濃厚感染者でなくても不安があると思います。その場合は、感染者が確認されてから14日間待ってから参加されることをお勧めいたします。

### 3. 人数、開催について

- 活動中の感染リスクを下げるため、プログラムの人数は最大でも100人以下（例えば、親子85人程度、スタッフ15人程度）とし、小グループにわかれての活動を基本とする。
- すべてのプログラムは、事前の受付を必須とし当日の参加は不可とする。参加日まで本紙を読み、参加カード・参加同意書に記入し事前提出、また健康チェックシートを当日受付時に提出する。
- 体調不良発生時は、直ちに帰宅（保護者による引き取り）を実施する、またその後の追跡ケアを行う。

### 4. 活動中について

- 3密回避を徹底する
  - 密室：屋内で活動する際には換気のため「窓またはドア」を2面以上開放する。
  - 密集：屋内使用時は新定員に則った施設定員で活動する。
  - 密接：飛沫範囲内に行動が伴う場合はマスクを着用する。
- 活動は「野外での活動」を基本とし、屋内活動の際は、換気・マスク着用を徹底する。
- 水分補給は、コップの使いまわしをしない。
- 野外での遊びや活動時の互の距離感については制限を設けないが（手をつなぐなど）、適切なタイミングでの手洗いを指導し必ず行うこととする。
- 活動中は消毒液（消毒用エタノール）をスタッフが携帯する。
- マスク着用のルール
  - ・室内での活動、調理などの際は必ず着用する。
  - ・野外での体を動かす活動時は、熱中症や窒息などのリスクを避けるため原則としてマスクは外す。子どもの場合、本人が着用を嫌がり、適切な管理ができない場合は着用を必須としない。
  - ・プログラムの集合、解散時には保護者の方にはマスクの着用をお願いする。
  - ・マスクは各自で日数分の持参を原則とする。
  - ・マスクを一時的に外す場合は、直接置いたり、ポケットに入れず、本人がビニール袋に入れて保管する。
- 手洗い、消毒の徹底
  - ・集合時、施設へ入室時、トイレの後、食事・調理の前、解散時など適時消毒を行う。
  - ・手洗いの際には、持参のタオルやハンカチの使用を促すか、自然乾燥を行う。
- 事前の体調管理と検温、体調確認
  - ・参加時には1週間前からの体調と体温を健康チェックシートに記入し、受付時に提

出。スタッフは口頭による体調の確認と検温を行う。

- 感染予防エチケットを身につける
- 咳やくしゃみをするときには、マスク、ティッシュ、上着の袖などで覆ってからする。手で覆うことはせず、手で受け止めた場合はすぐに手洗い、消毒を行う。
- 咳などをしない場合でも、鼻や口をむやみに手で触らず、触った手で他者や共有物を触らない。

## 5. 生活について

- 室内は2面以上の通気をして風通しのよい状態を確保。
- 食事が複数回ある事業の食器は、使い捨ての食器か、食堂で高温洗浄した食器をその都度使用する。

## 6. 調理・食事について

- 調理は、マスクを必ず使用し、料理時の適切な衛生管理を行う。
- 食事は換気が出来る室内か野外とし、対面での食事とならないように注意する。
- 配膳、おかわりの際は、職員が行うものとし、大皿から直箸で取ることはせず、個別の食器に盛り付けをする。おたまやしもじは消毒用エタノールで消毒してから使用する。

## 7. 子どもたちの接触について

- 参加時に症状がないことを確認しているので、屋外において子どもたちが鬼ごっこ的な遊びをする場合など制限は加えない。

## 8. 備品について

- 使用する備品は、使用前後に消毒用エタノールで消毒を行い管理する。

## 9. 掃除について

- 掃除は、原則子どもたちにも参加させて行う。
  - ※ほうきは上手に使いえないとホコリや落ちていたウイルスを舞い上がらせる為、ぞうきんによる拭き掃除の他、シートタイプのモップを併用する。
- トイレ掃除については、糞便尿からの感染事実もあるので、トイレ掃除は子どもにさせない。大人の対応者も感染を意識して清掃をする。

## 10. アレルギーについて

□アレルギーのチェックについては、これまで通り徹底して行う。

## 11. 開催自粛について

下記の条件を一つでも満たすとき、予定活動は開催自粛とする。

□政府による「緊急事態宣言」に基づく移動自粛が求められるとき。

□厚木市による「休業・自粛要請」があるとき

□職員、事業関係者に陽性罹患が発生したとき。

□「3密」を物理的に回避できないとき。

**本対策の内容は募集・活動場所の感染状況の推移を見ながら、適時追加変更していきます。**

**上記対応をしたうえでも、新型コロナウイルスの感染を完全に防げるものではないことをご理解ください。**

七沢自然ふれあいセンター業務受託者  
NPO 法人国際自然大学校

【参考】関係機関の通知・ガイドライン